

3.3. GLC（日本語）基礎学修力 Can-do リスト 2021

3.3.1. 目的

「GLC（日本語）基礎学修力 Can-do リスト 2021」の作成目的は、大学で学修を進めていくうえで土台となる事柄を可視化することで、学生の問題点と解決すべきことを明確にし、日頃の学生指導や授業活動に活かしていくことである。

グローバルラーニングセンター（以下 GLC）の日本語プログラムにおける C レベルの指導経験から、通常の Can-do リスト等で明示されない、それ以前の何かがあるのではないかという認識が、プロジェクトメンバーの教員間で共有されていた。これは、聴解力云々の前にそもそも話している人に注意が向かない、読む以前にそもそもそのための教材を持ってこない、授業参加以前にそもそも大学に来ない、等々で、プロジェクトメンバー間では「隠れ Can-do」や「そもそも Can-do」などと呼んでいたが、「GLC（日本語）基礎学修力」に統一した。GLC（日本語）基礎学修力の欠如は C レベルに限られたことではなく、また C レベルのどの学生にも共通することでもないが、少なくとも C レベルに顕著に認められた傾向であった。C レベルの日本語力向上は、この GLC（日本語）基礎学修力への対処なくして決してなし得ないであろうとの判断から、C レベルへの対応は、学修内容と GLC（日本語）基礎学修力をセットとし、両面から問題解決を図ることとした。学修内容の課題は次節（3.4.）③基礎技能系 Can-do リストで扱う。

GLC（日本語）基礎学修力は、学修に対する姿勢・態度を指し、図 2 のように、日本語学修を成立させるための隠れた暗黙条件のようなイメージである。

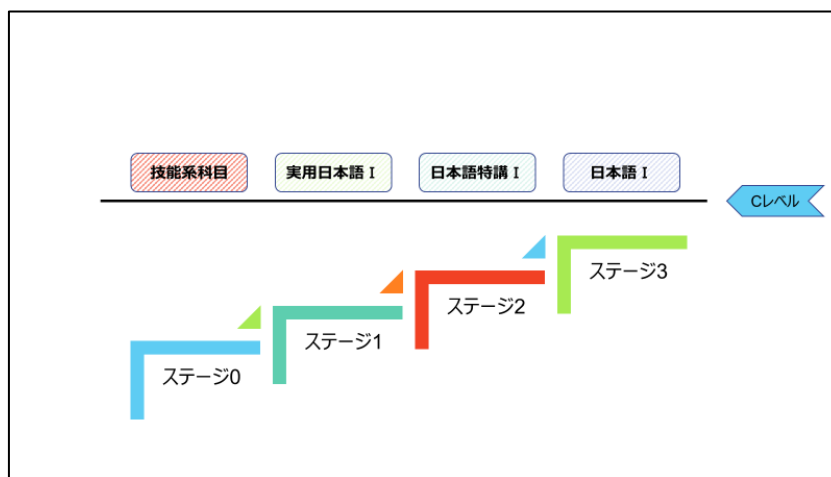


図 2 GLC（日本語）基礎学修力のイメージ図

3.3.2. 作成の経緯

報告者は C レベルの授業を担当した際に、きちんと授業に出席し、授業の課題を把握して締切を守って提出することができない学生が一定数以上いることに驚いた。そこで、授業などで学生と接する際に、「今、できないこと」「できるようになってほしいこと」を考え、整理した。それを基に、2021 年度後期に C レベルにおいて、合同授業を実施し、学習者の母語で「大学と高校の違い」や「大学で成績が持つ意味」、「成績がどのように算出さ

れるか」などについて、学生とやりとりしながら確認していく活動を取り入れた。合同授業での実践を通して、「そもそも何ができないのか」「何ができるようにならないといけないのか」「できるようになるためには、どのようなアクションが必要なのか」を明示していくことの重要性を痛感した。

以上の問題意識で、Cレベルの学習者が大学での学修を進めていくうえで、土台となる基礎学修力を整理し、ステージ0からステージ3に分けて「GLC（日本語）基礎学修力 Can-do リスト 2021」（以下、GLC（日本語）基礎学修力 Can-do リスト）を作成した。なお、「GLC（日本語）基礎学修力 Can-do リスト」は、報告者が担当した「日本語Ⅰ・Ⅱ」「日本語特講Ⅰ・Ⅱ」「日本語語彙」「実用日本語ⅠA・ⅠB」等での実践経験から得られた気づきに基づき、報告者が整理したものである。そして、本プロジェクトメンバーと議論を重ねた上で、最終版を完成させた。

3.3.3. Can-do リスト

「GLC（日本語）基礎学修力の Can-do リスト」は、「授業参加」「LMS・メール」「履修登録」「授業の課題提出」「成績評価」の5つの項目で構成されている。「授業参加」を「出席する」「受動的な参加」「参加」「積極参加」に分け、ステージ0からステージ3に分類した。また、「LMS・メール」を「アクセス」「内容確認」「対応」に分けてステージ1からステージ3に、「履修登録」を「必要性の理解」「登録」に分けてステージ1とステージ2に分類した。さらに、「授業の課題」を「提出」「指示理解・課題管理」に分けてステージ2とステージ3に、「成績評価」をステージ3に分類した。

以下、「GLC（日本語）基礎学修力の Can-do 項目別リスト 2021」「GLC（日本語）基礎学修力の Can-do ステージ別リスト 2021」を示す。



授業参加	出席する	受動的な参加	参加	積極参加
	<ol style="list-style-type: none"> 正しい教室に行くことができる 授業の開始時刻までに教室に行くことができる 授業受講に必要なもの(筆記用具など)を持って、授業に出席できる 出席する授業に必要な教科書や資料を持って、授業に出席できる 	<ol style="list-style-type: none"> 教員やクラスメートの話を聞くことができる 携帯電話で遊ぶなど授業と関係ないことをせずに、授業活動に参加できる 	<ol style="list-style-type: none"> 授業で教員の指示に従うことができる グループワークなどで発言できる 	<ol style="list-style-type: none"> 授業で分からないことをクラスメートや教員に質問することができる グループワークなどの授業活動に積極的に参加できる
LMS・メール	アクセス	内容確認	対応	
	<ol style="list-style-type: none"> YGU メールや LMS 上の情報の重要性が分かる YGU メールにログインできる LMS にログインできる 	<ol style="list-style-type: none"> YGU メールを確認し、読むことができる LMS 上で発信されている授業などに関する連絡・指示を確認できる 	<ol style="list-style-type: none"> YGU メールの内容を理解し、適切に対応することができる LMS 上の連絡・指示を理解し、適切に対応することができる YGU メールや LMS の確認を習慣化できる 	
履修登録	必要性の理解	登録		
	<ol style="list-style-type: none"> 大学では、自分で科目を履修登録しなければならないことが理解できる 	<ol style="list-style-type: none"> 自分が履修すべき科目が分かる 自分が履修すべき単位数が分かる 締切を守って履修登録できる 		
	授業の課題提出	提出	指示理解・課題管理	
		<ol style="list-style-type: none"> 自分が出さなければならぬ課題が分かる 課題提出方法を理解し、提出できる 	<ol style="list-style-type: none"> 課題の指示を正確に把握できる 課題提出のために、いつ何をすべきかが理解できる 課題を締切を守って提出できる 課題管理を習慣化できる 	
		成績評価	理解	
			<ol style="list-style-type: none"> 授業の課題が成績評価につながる事が分かる 成績評価が単位取得につながる事が分かる 単位取得が進級や卒業要件となる事が分かる 	

図3 GLC (日本語) 基礎学修力の Can-do 項目別リスト 2021

GLC (日本語) 基礎学修力の Can-do ステージ別リスト 2021

ステージ 0			
1	授業に出席できる	1	正しい教室に行くことができる
		2	授業の開始時刻までに、教室に行くことができる
		3	授業受講に必要なもの(筆記用具など)を持って、授業に出席できる
		4	出席する授業に必要な教科書や資料を持って、授業に出席できる

ステージ 1			
1	授業活動に参加できる	1	教員やクラスメートの話を聞くことができる
		2	携帯電話で遊ぶなど授業と関係ないことをせずに、授業活動に参加できる
2	授業の履修登録が理解できる	1	大学では、自分で科目を履修登録しなければならないことが理解できる
3	YGU メールや LMS にアクセスできる	1	YGU メールや LMS 上の情報の重要性が分かる
		2	YGU メールにログインできる
		3	LMS にログインできる

ステージ 2			
1	教員の指示に従い、授業活動に参加できる	1	授業で教員の指示に従うことができる
		2	グループワークなどで発言できる
2	授業の課題を提出できる	1	自分が出さなければならない課題が分かる
		2	課題提出方法を理解し、提出できる
3	授業の履修登録ができる	1	自分が履修すべき科目が分かる
		2	自分が履修すべき単位数が分かる
		3	締切を守って履修登録できる
4	YGU メールや LMS を確認できる	1	YGU メールを確認し、読むことができる
		2	LMS 上で発信されている授業などに関する連絡・指示を確認できる

ステージ 3			
1	積極的に授業に参加できる	1	授業で分からないことをクラスメートや教員に質問することができる
		2	グループワークなどの授業活動に積極的に参加できる
2	授業課題を締め切りを守って提出できる	1	課題の指示を正確に把握できる
		2	課題提出のために、いつ何をすべきかが理解できる
		3	課題を締め切りを守って提出できる
		4	課題管理を習慣化できる
3	大学の成績評価が分かる	1	授業の課題が成績評価につながる事が分かる
		2	成績評価が単位取得につながる事が分かる
		3	単位取得が進級や卒業要件となる事が分かる
4	YGU メールや LMS を活用できる	1	YGU メールの内容を理解し、適切に対応することができる
		2	LMS 上の連絡・指示を理解し、適切に対応することができる
		3	YGU メールや LMS の確認を習慣化できる

3.3.4. 共有対象及び今後の展開構想

「GLC（日本語）基礎学修力の Can-do リスト」の共有対象は、GLC の日本語セッション（以下 GLC-J）の教員と留学生が所属する学部教員、本学の留学生である。

まず、GLC-J 教員間で共有することにより、担当学生がどのステージにいるのかを焦点化し、担当教員間で共通目標を持って指導できる。また、リストを学生に渡してチェックしてもらうことにより、「自分自身の今のステージ」「今、クリアすべきステージ」「次に目指すステージ」を明確化し、一つ一つのステージをクリアしていく際の達成感を味わってもらいたい。

次に、学部教員に対しては FD 等で共有し、留学生指導に苦しむ学部教員に日本語科目の取り組みを紹介し、共に対処方法を考えて行きたい。また、本学の学生センターと連携し、学習障害との見分けに注意しながら指導することを心掛ける。

文責：齊藤眞美・金桂英（3.3.1）

金桂英（3.3.2, 3.3.3, 3.3.4）